

# 日本の慢性疼痛に対する教育普及事業

IASP/JASP Pain Education Grant(Global Pfizer)

◆本教材を作成しました目的は、

- 1) オピオイド鎮痛薬の薬理・臨床効果・有害事象などを理解・復習していただくこと
  - 2) 非がん性慢性疼痛にする適正なオピオイド鎮痛薬の使用を理解していただくこと、
- の2点であります。

◆痛み財団のご厚意により、会員の方々の教材として利用して頂くことで、さらなる普及を目指しております。

◆本教材は、痛み関連学会連合の一部の学会の学術大会において、「IASP/JASP Pain Education Grant(Global Pfizer)：日本の慢性疼痛に対する教育普及事業」の共催により開催された「オピオイド鎮痛薬教育」のシンポジウムで使用されたものです。

◆パワーポイントのスライドは、元々演者が所有しておられるものをお借りして使用しています。

演者：金井昭文（北里大学医学部新世紀医療開発センター疼痛学講座）

上野博司（京都府立医科大学疼痛・緩和医療学教室）

木村嘉之（獨協医科大学医学部麻酔科学教室）

山口重樹（獨協医科大学医学部麻酔科学講座）

大岩彩乃（慈恵医科大学麻酔科学講座）

企画：井関雅子（順天堂大学麻酔科学ペインクリニック講座）